

無限大“∞”

～この夏の41日間、挑戦者であれ～

気づけば2年生夏休み。3年1月にある共通テストを目標に据えると、ちょうどこの8月で折り返しです。そう思えば、この2年生の夏休みが自分にとって重要な時期になるのでしょうか。勉強はもちろん、部活、国際研修、ボランティア、オープンキャンパス参加、趣味に没頭することなど自分の視野を広げることも、この夏だから時間をかけられる。この夏の41日間、何に挑戦しますか？

【6月27日 第2回高大連携授業～研究に触れる～】

今回は最後の高大連携授業でした。同じ学部でも、先生によって研究の分野が様々であること、自分の興味のある分野が、他の学部では違う角度で学べることなど、新たに知ることができました。進路を考える機会になれば嬉しいです。

《国際商経学部》～磯貝 茂樹先生～ テーマ「ゲーム理論で社会・人間関係を理解する」

今回の高大連携授業の中で、1番心に残ったのは「一人ひとりが日々選択していく」という磯貝先生の言葉です。その言葉を思い返すほど、私の日常にある「ゲーム理論」が少しずつ未来を形作っていることを実感しました。

以前は「経済学＝難しくて堅い学問」というイメージがあり、あまり興味を持ててはなかったのですが、磯貝先生の話を通して、世の中の出来事を人の行動から分析することであることを知り、その面白さに引き込まれました。

ゲーム理論やミクロ経済学の話は、私にとって未知の世界でしたが、身近なコミュニケーションから国際問題までに応用できることを知り、一気に興味が湧きました。

他にも、プライスのパラドックスやオークションにおける談合をゲーム理論の視点から紐解くことで、これまで見ていなかったものが少しずつ明らかになり、とても興味深く感じました。今後はこの学びを武器に、自分も一歩踏み出す選択を日々丁寧に重ねていきたいと思います。(中津 摩耶)



《工学部》～長宗 高樹先生～ テーマ「AIの基礎的原理の説明とその応用事例」

今日は工学部の長宗先生による「人工知能」に関する授業を受けました。僕は情報系の分野に関心があり、非常に興味深く授業に臨むことができました。

特に印象に残っている話が二つあります。一つ目は、AIの進歩による雇用の変化についてです。これまで僕は、AIによって人間の仕事が奪われてしまうのではないかと不安を抱いていましたが、AIの登場によって新たな仕事も生まれるという話を聞き、未来への見方が前向きに変わりました。

二つ目は、「AIに使われないようにする」というお話です。AIが発展する中で、何かを学ぶ意味を見失いかけていましたが、最終的に情報の正しさを判断するのは人間であり、その力を養うことが大切だという言葉に大きな気づきを得ました。

今日は高大連携授業の最終回でしたが、中学生の頃からこれまで多くの大学の先生方から学べたことは、かけがえない貴重な経験でした。今後の人生に生かしていきたいと思います。(塩谷 斉矩)



《社会情報科学部》～柳瀬 友朗先生～ テーマ「『富岳』で探る気象・気候の数理」

今回の社会情報科学部の高大連携授業では、気象学の研究方法の一つである「シミュレーション」について学びました。気象の未来の状態を予測するには、調べたい地域を格子状に分けて、「未来の値＝現在の値＋変化速度×経過時間」という式を使います。考え方はシンプルですが、現在の値や変化速度の推定が難しく、格子数も多いため、実際の計算はとても大変です。そこで役立つのが、スーパーコンピュータ「富岳」です。約16万ものコンピュータが連結されており、複雑な計算を短時間で処理できます。

このような技術によって、気象予測が現実にも可能になっていることを知り、科学とコンピュータの力にとても驚きました。今回は情報×気象を学びましたが、今後は医療や防災など、他の分野と情報の関わりにも注目してみたいと思いました。(稲家 さくら)



《理学部》～坂井 徹先生～ テーマ「量子力学の世界 一粒子の波動性から高温超伝導まで」

私は今回の高大連携授業で「粒子の波動性や高温超伝導」について坂井先生に授業していただきました。目に見えている物質の運動は、ニュートンの運動方程式で表すことができますが、原子、分子レベルの目に見えないミクロな世界では量子力学と呼ばれる法則が用いられており、量子力学では、全ての物が粒子の性質と波動の性質を合わせ持つため、違う状態の重ね合わせが可能になり、量子力学ではこの違う状態の「重ね合わせ」と「対称性」が重要な役割を果たしているそうです。今回の講義で1番印象に残った話は「量子コンピュータ」の話です。量子コンピュータのしくみは量子のもつれの状態を大量に作り、大量の情報を瞬時に計算することでスーパーコンピュータより早く、高い精度をもって計算をすることができるそうです。難しい範囲でしたが坂井先生のわかりやすい授業で、意欲的に受けることができました。(藤原 偉成)



《環境人間学部》～野村 健先生～ テーマ「ミクロな視点から見たスポーツ科学の世界」

私は運動部に所属していて普段から体を動かしているので、スポーツ科学の分野についても気になっていました。なので今回の授業はとても興味がありました。筋肉や腱が引きのばされたり、心臓や血管などに圧力や伸展が加わるなどといった身体活動時に、生体内のさまざまなところにあるメカニカルストレスというものが発生するということを知りました。メカニカルストレスが筋肉を鍛えたり、強くしたりするのに役立つということを初めて知りました。イオンチャネルのゲーティング構造について自動ドアを例として説明していただき、とても分かりやすかったです。piezo チャネルは機械的な刺激で活性化し、不活動による筋萎縮などに関与していることを知り、大人になって今より体を動かす機会が減っても適度に体を動かし健康に過ごすことが大切だなと思いました。(横山 百音)



《看護学部》～撫養 真紀子先生～ テーマ「コミュニケーションの技術について」

コミュニケーションは生きていく上で必要不可欠であり、大切なツールです。しかし、現在は新型コロナウイルスの影響やインターネットの発達などからコミュニケーション技術の獲得が難しくなっています。言語的コミュニケーションには Open question と Closed question があり、二つをうまく組み合わせて会話することが大切だとわかりました。Closed question は自分の言いたいことがあっても「はい」か「いいえ」でしか答えられないので、自分が他に言いたいことが相手に伝わらず、もどかしかったです。それに対して Open question は会話を広げやすく、コミュニケーションをとるのが楽しかったです。Closed question も質問次第では充実したコミュニケーションができるので、質問の仕方を見直したいと思います。将来、どんな職業に就いてもコミュニケーションは重要なスキルになるので、今日学んだことを活かせばいいと思います。(青田 祐葵)



【7月11日 OBOG 講演会】

昨年は、大学1年生と3年生の先輩に、大学での学びや、振り返って高校の時にやっておいたいいことなどを座談会形式でお話を伺いました。今回は、社会人として様々な分野で活躍されている先輩に、ご自身の仕事や目指すきっかけや大学・高校での学びなどについてお話を伺いました。働くことの厳しさもありますが、輝いた表情でお話くださる様子が印象的でした。

水畑 樹さん(22 回生)

消防士は実際に現場出動するために公務員試験に合格する必要があり、合格してから消防学校で過ごす必要もあることを知りました。消防隊の中にも特別救助隊や救急隊、日勤者の他にも多くの種類があって驚きました。消防士はいつ出勤がかかるかわからないし、現場で実際に亡くなった消防隊員もいると聞いて、自分の命がかかった上で命を救うために働いてくれているということを常に感謝しなければならないと改めて感じられました。(衣笠 愛理)



内田 舞さん(22 回生)

「浪人は怖いものじゃないし、受験も死ぬわけじゃない」という言葉を、もう当時の自分にはかけてあげられないかと、私たちにかけただき嬉しかったです。兵庫県での支援で9年間県内で活躍することは大変だという印象を受けたのですが、内田さんのスライドを見てとても楽しそうだと感じました。私は医者にはならないのですが、人のために行動できる人になりたいです。(中村 美結)



保井 彩優花さん(22 回生)

私は、保井さんの講話を聞いて、自分が看護師として働くまでの道のりがより一層リアルに知ることができました。特に、看護学校の実習では5人グループで1つの病院を担当するため、つらい時に支えてくれる友達や先生とは今でも仲が良いと教えていただき、看護の実習は個人的に不安視していたので詳しく教えていただけて、自分が今取り組んだ方がよいことなども知ることができて良かったです。(秋田 珠李)



井上万葉子さん(17 回生)

質問させていただいたときに、商船三井の方々の出身学部割合も知ることができて選択肢が広がりました。講演の前までは、大学で経営学を学んだ後、大手の証券会社に就職したいと考えていましたが、海外との輸送の98%を占める商船に携われる仕事にも魅力を感じました。また、何かと何かをつなげることに価値を見出す発想も私にはなかったので、今後、大学や会社を選ぶ際に取り入れていきたいと思います。(深見 理桜)



松田 正大さん(17 回生)

グローリーという会社はなんとなく知っていましたが、コンビニエンスストア自動精算機やコインロッカーなど思っていたより多くの製品に携わっていて驚きました。お話の中で社会で求められる人間像と、今のうちにやっておくべきことについて聞き、特に「英語」についての話が心に残りました。松田さんは英語が苦手だけれど、外国の方と英語でやり取りする機会が増え勉強していたらよかったと思うと言っていらっしまったので私も英語に苦手意識があるけどもっと勉強しようと思います。(竹野 胡春)



安西 紗耶さん(7 回生)

何かの選択をするときは、「理由」を意識することが大切だと知った。なんとなくで選んでも、「理由」は後から着いてくるものだし、一番大事なのは、どんな選択をしてもいいから未来の可能性を減らさない選択をすることだと学んだ。だから、私も進路について考えることが多くなってきたので、「理由」を意識して自分の未来を考えていきたい。(黒宮 知音)



名古 篤史(20回生)

市役所の仕事は多岐にわたり、安全や福祉、環境教育等、市民の生活を幅広く支えていることが分かりました。また、これからの社会人には相手の立場で考える力や多くの課題に挑む勇氣、新しいことに取り組む姿勢が求められていると聞き、自分もそのような力を身につけたいと思いました。さらに、「人のつながり」が大切だという言葉が、心に残り、今後の人間関係をより大切にしていこうと思いました。(平田 慎仁)



【7月15日 球技大会】

第32代生徒会が発足して初めての行事でした。前日の降水量が多く心配しましたが、当日グラウンドのコンディションもよく、無事にソフトボールを実施することができました。結果、バドミントンでは2-5が優勝!!2-4が第2位!!バレーボールでは2-1が優勝!!2-3が第2位!!2-4が第3位!!ソフトボールで2-2が第2位!!31回生が大声援のなか大活躍でした!!



【夏休み課題について】

★テクノタイム(GA 探究)、科学探究基礎、理数探究

試行錯誤しながら、たまに三歩進んで二歩下がりがながら、グループで探究を進めています。9月に中間発表を行います。そのための発表原稿は9月12日提出です。31回生のclassroomに発表原稿の項目をUPしていますので、参考にしてください。

★ベトナムについて調査しよう

ベトナムってどんな国?食べ物?文化?歴史?ホーチミンはどんな都市?経済成長は?流行のものは?...一人ひとり着目するところは違ってもいい。各クラスのclassroomに課題(スライド)が配信されていますので、編集して提出してください。9月以降にクラスで共有しあう可能性大です。

★ラボ訪問

附属高校生のための進路体験です。高校の学びと大学の学び、そしてその先の研究にどのように繋がるのか、是非肌で感じてみてください。学校の行事として参加しますので、標準服で参加します。

【保護者の皆様へ】

① 7月18日の研修旅行保護者説明会にご参加いただきありがとうございました。また、お忙しいなか、アレルギー調査等提出書類のご準備もありがとうございました。9月以降、研修旅行について準備を始めてまいりますがお気になられた点がございましたら、学校へご連絡ください。

② 夏休み中にラボ訪問へ参加する生徒が多数おります。事前に要項を生徒へ配布しておりますが、日程や往路復路の確認をお願いします。また、標準服での参加となりますのでよろしくお願いします。

お忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

♪夏季休業中・9月の行事予定(2年生関連)

22日(火)~8月1日(金) 三者懇談 ※クラスにより日程が異なります	12日(金) 探究の中間発表原稿提出メ切、 ⑦健康教育講演会
26日(土)~8月5日(火) タイ国際交流(希望者)	16日(火) テクノタイム(GA 探究) 中間発表
27日(日)~8月9日(土) オーストラリア国際交流(希望者)	17日(水) 理数探究(CS 探究) 中間発表
28日(月)~31日(木) 前期補習	19日(金) 科学探究基礎(FS 探究) 中間発表
8月12日(火)~16日(土) 寮生完全帰省	21日(日) オーストラリア留学生受け入れ(~10/4)
21日(木) 全統模試(希望者・校内実施)	29日(月) 前期終業式
23日(土) オープンハイスクール	30日(火) 秋季休業日
25日(月)~27日(水) 後期補習(指名)	
9月5日(金) 大掃除、課題考査②国③英④数 ⑤世日/化⑥化生/物生、⑦LHR	※10月1日(水) 後期始業式、体育大会予行 2日(木) 体育大会